

まんまるサイトからお届け

おおのぐらしにゆ〜す

Vol.
34
R5.3.31
発行

こんにちは！この冬は雪が少なめで、早めの春がやってきましたね。皆様いかがお過ごしですか。この「おおのぐらしにゆ〜す」は、大野市または奥越前まんまるサイトへ移住のお問い合わせをいただいた方にお届けしています。移住定住に関する情報の他、まんまるスタッフがふと気づいた大野ならではの話題をお伝えできればと思っています。皆様の地区でも大野のオモシロ情報などありましたら是非お寄せ下さい。また「大野のこと、もっと知りたいな」という方はお気軽にお問い合わせ下さい。

矢ばなの里 カタクリの群生

矢ばなの里は、大野市矢地区の住民の方々によって整備された里山です。春には、3haの広大な敷地に100万本のカタクリの花を見ることができます。



園内には遊歩道が整備されており、回遊して楽しむことができます。平成18年から始まり今では年間2500人程が訪れる観光スポットに。地域の宝を育て、地域で守り続ける取り組みに注目です。 写真提供：矢環境緑化実行委員会 会長高松誠氏



広々、大野DEサイクリング&ポタリング

のどかで静かな農村風景が広がる大野盆地。盆地内は急な坂道が少なくサイクリングにもピッタリです。

道の駅 越前おおの荒島の郷や城下町東広場では、軽快なクロスバイクのレンタル事業《九頭竜ぐるっとペダル》を展開しています。是非ご利用下さい。



大野にUターンして

「大野にはもう戻らない！」と決心し、ずっと都会で暮らしてきたAさん。第二の人生を「また大野で暮らそう」とご家族でUターンして1年が経ちました。そんなAさんの思いを伺う機会があり、承諾を頂いてご紹介させていただきます。

『畑を始めました。こんなに太い大根がほんの小さな種から育つということに驚きました。子どもの頃、当たり前のように食卓に並んでいた大根や里芋の煮物、四季折々の漬物が、丹精込めて種から作られていたことに気づき、その豊かさをあらためて感じました。』

何気なく見上げていた近所にある大きな樹は、今も変わらず、日々様々な表情を見せてくれます。自然の中にある大野の暮らしを丁寧に楽しんでいきたいです。自分で育てた大根は、本当にやわらかくて美味しいですね。』



春の訪れ、七間朝市開き

3月21日(春分の日)、春の訪れを告げる伝統行事「七間朝市開き」が行われました。この朝市は400年以上の歴史があり、地元の食材や手作りの品物などが並びます。生産者であるお店の方との楽しい会話も人気です。

今年の朝市開きではミニ楽市も七間通りで開催され、キッチンカーや手作り雑貨のお店も並び、家族連れなど多くの人で賑わっていました！



《いぬいかわ みらい Cafe》気軽に来てね！

児童数の減少と校舎の老朽化等の影響で、令和2年度末に地元の乾側小学校が閉校となりました。それをきっかけとして、乾側をよくする会と若者グループが中心となって始まったのが「いぬいかわ みらい cafe」です。大きなテーマは「乾側地区の未来構想」ですが、地域の子どもたちや住民の方々が気軽に集まって、遊んだり何でも話せる場所にしたい！乾側地区を盛り上げたい！とカフェの他にも様々な活動を試行錯誤されています。地区外からの参加も大歓迎。「活動を通して『乾側ファン』を増やしていきたい！」そんな若者グループの活動に勇気づけられます。

「二十歳+α」のつどいにてもちつき大会

夏のいぬいかわキャンプ体験にてテント設営



《inuikawa_fun》
インスタにて発信中



編集後記

早めに春が来て、桜の開花も早まって、福井市ではもう満開の桜が咲いているらしい。
お花見の気分にするなれない年度末、幸い高原の上にある此処の桜が咲くまでまだ少し間がありそう。
お花見とお弁当を楽しみにもうひと頑張り。

みにこらむ

大野のあれやこれ

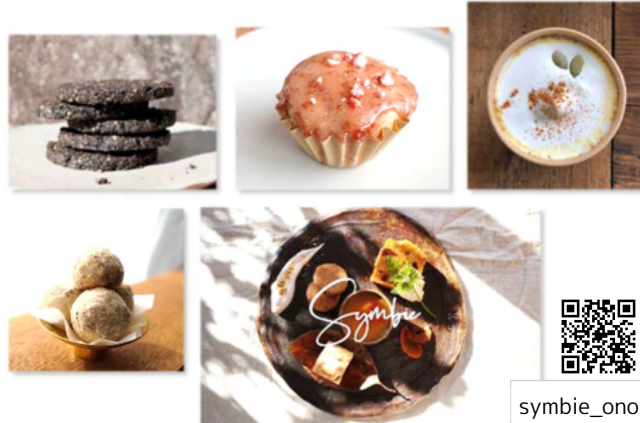


大野に暮らしてちょっと気になる情報や耳よりなでき事をご紹介します！

～ お店の名前は Symbie (共生) ～

地球と人にちょっぴり優しいお菓子を届けたい
そんな思いから生み出されるお菓子の数々。

「キヌアと黒ゴマのクッキー」「キャロットケーキ」「オールスパイスクッキー」等々、耳にするだけでも身体にうれしそうな名前が並びます。



シンビーさんのお菓子は卵や牛乳・バター等の動物性食品や白砂糖を使用せず、素材本来の味を生かして作られています。また自分達の畑で採れた有機野菜や無農薬の食材をできる限り使用するというこだわりも。ナチュラルでオシャレ、そんなシンビーさんのお菓子ファンが県内外に広がっています。

おおのぐらし交流会を開催しました

2月26日にR4年度3回目の「おおのぐらし交流会」を開催しました。テーマは「春探し里山散歩」でしたがまだ雪が残っていたので、スノーシューやスノーハイクを利用して残雪の六呂師高原を散策しました。

参加された方たちは、コブシの花のやわらかな冬芽やまだトゲトゲの枝ばかりが目立つタラの木などを観察。参加者さん同士の会話も弾み、心も体も清々しいひと時となりました。



次回のおおのぐらし交流会…
企画内容を考案中
お楽しみに～！

お問い合わせ先

(H25.4 から大野市より移住定住業務の一部を受託しています)

〒912-0131 大野市南六呂師 169-124

Tel・0779-67-1117/ Email・manmarusaito@goo.jp

担当:坂本 道子

移住定住
ポータルサイト
更新中です♪

